

岩手医科大学

医療



いわて医療通信【更年期】

# 女性更年期について①

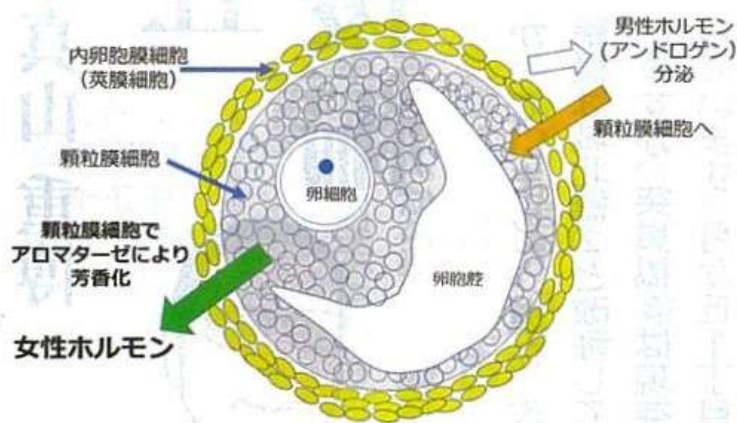
## 女性ホルモンについて

以前に女性ホルモンは『万能ホルモン』と書きましたが、女性ホルモンについて少し掘り下げてみましょう。

性ホルモンには男性ホルモンと女性ホルモンがあります。皆さんは、男性ホルモンは『精巣』でのみ作られるとお考えだと思いますが、実は精巣以外に『卵巣』や、内分泌学的に重要な器官である『副腎』でも生成されています。女性ホルモンの合成については図を見てください。

卵巣には将来赤ちゃんに

なる卵細胞が生まれながらに多数存在しており、そのまわりに顆粒膜細胞と内卵細胞膜細胞が存在して卵細胞を保護しています。女性ホルモンは、まず内卵細胞膜細胞で合成された男性ホルモンを原料とし、そのホルモンが卵細胞(卵子)を取り囲んでいる顆粒膜細胞に運ばれ、その細胞から分泌されるアロマトラーゼという酵素によって女性ホルモンに変換されて生成されることになります。女性が高齢を迎えると、卵細胞も古くなり遺伝的にも卵細胞の能力が低下します。加えてホルモンバランスも崩れ、この女



性ホルモンの分泌が弱くなるのです。これら性ホルモンは、いわゆる『ステロイドホルモン』に分類されるのですが、その原料は信じられないかも知れませんがコレステロールなのです。そのため、コレステロールは食事として摂取するのに加えて、身体でも合成しています。コレステロールは、若い

うちはたくさん油物を食べなくても、性ホルモンの合成が盛んなので太らないかも知れませんが、年を重ねるにつれて性ホルモンの合成が下がり、原料であるコレステロールが合成に加え、摂取してもすべて消費することができず余るのでメタボリックシンドロームになると考えると良いと思います。次号では更年期の症状について具体的に記載します。

岩手医科大学解剖学講座 齋野朝幸